

宮内庁京都事務所管理課研究職員の採用について

募 集 人 員	1 名
採用後の職務	京都事務所所管各文化財の保存管理ならびにその活用に関連する業務 (博物館法第 4 条第 4 項に規程される業務を含む)
採用後の処遇	国家公務員・内閣府事務官 (研究職) 給与：学歴・経験を考慮し、「一般職の職員の給与に関する法律」に基づき決定する。
勤 務 地	京都市上京区京都御苑 3 宮内庁京都事務所
応 募 資 格	1. 大学院修士課程を修了した者、又はそれと同等以上と認められる者のうち、平安時代以降の歴史学の調査・研究をし、宮廷文化又は有職故実に関する業績を有する者。 2. 博物館学芸員資格を有する者。 3. 心身共に健全で、永年勤務可能な者。 なお、以下に該当する者は応募できません。 (1)日本国籍を有しない者 (2)国家公務員法 (昭和 22 年法律第 120 号) 第 38 条の規定により国家公務員となることができない以下の者 ・ 成年被後見人又は被保佐人 ・ 禁固刑以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又は執行を受けることがなくなるまでの者 ・ 懲戒免職処分を受け、当該処分の日から 2 年を経過しない者 ・ 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者
採用予定時期	平成 27 年 7 月 1 日
提 出 書 類	(以下の全件を一括して提出すること) (1)履歴書 (最近 3 ヶ月以内に撮影した写真貼付) 1 通 (2)大学学部卒業証明及び成績証明 1 通 (3)大学院修了証明及び成績証明 各課程 1 通 (4)博士学位取得証明 1 通 (学位取得者) (5)志望動機及び京都御所に望むこと。(2, 000 字以内。様式随意) (6)博物館学芸員資格証明書 1 通 (7)著作目録 (著作目録のほか調査歴等もここに含める)。 書式は自由とするが、著作については著書・論文など種類別 (かつ発表順) にまとめ、かつ連名の業績については、応募者の分担範囲を明示すること。 また、卒業論文・修士論文・博士論文は、著作に含め、400 字以内の要旨を添えること。 (8)主要業績。上記著作目録に掲げられたものの中から 3 点以内を提出 (抜刷・コピー可) すること。
書類送付先	〒 602-8611 京都市上京区京都御苑 3 宮内庁京都事務所庶務課長 津田勝博あて 必ず簡易書留とし、封筒の表に「管理課研究職員応募書類在中」と朱記すること。 なお、不採用となった場合は、応募書類を返却するので、宛先を明記し返信用切手 (簡易書留) を貼付した返信用封筒を同封すること。

提出期限 平成27年4月24日（金）必着

選考方法 書類選考で適格と判断した者について面接及び健康診断を行って採否を決定する。

採否の通知 採用内定者には電話連絡する。また、不採用とする者には文書で通知する。

照会先 〒602-8611 京都市上京区京都御苑3
宮内庁京都事務所 庶務課長 津田, 庶務係長 宇谷
電話 075-211-1211 内線131・132

平成 27 年 2 月 17 日

関係各位

京都大学大学院人間・環境学研究科長

高橋 由典（公印省略）

教員公募について（依頼）

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。このたび当研究科では、下記の要領にて教員を公募いたします。つきましては、関係各位への周知につきご高配を賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 公募職名および人員：教授または准教授 1 名
 2. 所属：京都大学大学院人間・環境学研究科 共生文明学専攻 現代文明論講座 文明構造論分野
 3. 専門分野：近現代ドイツ思想・文学
 4. 担当授業科目等：本研究科等における下記の授業科目（いずれも半期科目）および論文指導
（人間・環境学研究科）文明相関論 1、文明構造論演習 3
（総合人間学部）文明構造論ⅢA、同ⅢB
（全学共通科目）ドイツ語Ⅰ、ドイツ語Ⅱ（90 分授業を計週 4 コマ担当）
 5. 採用年月日：平成 28 年 4 月 1 日
 6. 応募資格：博士の学位を有する者、またはこれと同等の研究業績を有する者
 7. 勤務形態：常勤（任期なし）、裁量労働制（週 38 時間 45 分相当、1 日 7 時間 45 分相当）
休日：土・日曜日、祝日、年末年始、創立記念日、夏季一斉休業日
 8. 給与・手当等：本学支給基準に基づき支給
 9. 社会保険等：文部科学省共済組合、雇用保険および労災保険に加入
 10. 提出書類：各 6 部提出、内 5 部は複写可
 - (1) 履歴書（様式自由。高等学校卒業以降の学歴・職歴、現住所・電話番号・電子メールアドレス、所属学会を記載）
 - (2) 研究業績一覧（著書・査読付論文・査読なし論文・その他に分け、発表順に記載。印刷中ないし印刷予定については出版証明書などを添付）
 - (3) 主要著書・論文の別刷り 5 篇以内（著書を含め複写も可）
 - (4) これまでの研究歴、研究内容の特色および今後の研究計画の概要説明（日本語 2,000 字程度）
 - (5) 本学ドイツ語教育に対する抱負（ドイツ語 1,500 語程度およびその日本語訳）
- * なお、提出書類は返却しません。

11. 選考方法：提出書類に基づいて選考します。選考の過程で面接を行うことがあります。その際の交通費・滞在費等は応募者の自己負担とします。また、面接の際に模擬授業をしてもらう場合があります。選考結果は、教授会最終決定後に通知します。
12. 応募締切日：平成 27 年 4 月 30 日（木）必着
13. 応募書類提出先：〒606-8501 京都市左京区吉田二本松町
京都大学大学院人間・環境学研究科 研究科長宛
提出方法は郵送に限ります。封筒または封緘した包みの表に「文明構造論分野応募書類在中」と朱書きし、書留郵便にて送付のこと。
14. 問い合わせ先：
京都大学大学院人間・環境学研究科 共生文明学専攻 大川 勇
E-mail: ookawa.isamu.8u*kyoto-u.ac.jp（*を@に変えてください）
問い合わせは、電子メールによるものに限ります。
15. 男女共同参画
京都大学は男女共同参画を推進しています。多数の女性研究者の積極的な応募を期待します。
16. その他
提出していただいた書類は、採用審査のみに使用します。正当な理由なく第三者への開示、譲渡および貸与を行うことは一切ありません。

平成 27 年 2 月 20 日

関係各位

京都大学大学院人間・環境学研究科長

高橋 由典（公印省略）

教員公募について（依頼）

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。このたび当研究科では、下記の要領にて教員を公募いたします。つきましては、関係各位への周知につきご高配を賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 公募職名および人員：教授または准教授 1 名
2. 所属：京都大学大学院人間・環境学研究科 共生文明学専攻 比較文明論講座 地域文明論分野
3. 専門分野：中国史、東アジア文化交渉史
4. 担当授業科目等：本研究科等における下記の授業科目（いずれも半期科目）および論文指導
（人間・環境学研究科）東アジア文化交渉論、地域文明論演習
（総合人間学部）東アジア文化交渉論 A・B、東アジア文化交渉論演習 A・B
（全学共通科目）東洋史ⅡA・B、東洋史文献講読演習ⅡA・B（90 分授業を計週 3 コマ担当）
なお、東洋史Ⅱは、主に中国の近世史をその対象とする。
5. 採用年月日：平成 28 年 4 月 1 日
6. 応募資格：博士の学位を有する者、またはこれと同等の研究業績を有する者
7. 勤務形態：常勤（任期なし）、裁量労働制（週 38 時間 45 分相当、1 日 7 時間 45 分相当）
休日：土・日曜日、祝日、年末年始、創立記念日、夏季一斉休業日
8. 給与・手当等：本学支給基準に基づき支給
9. 社会保険等：文部科学省共済組合、雇用保険および労災保険に加入
10. 提出書類：各 6 部提出、内 5 部は複写可
 - (1) 履歴書（様式自由。高等学校卒業以降の学歴・職歴、現住所・電話番号・電子メールアドレス、所属学会を記載）
 - (2) 研究業績一覧（著書・査読付論文・査読なし論文・その他に分け、発表順に記載。また競争的資金の獲得状況を記すこと。印刷中ないし印刷予定については出版証明書などを添付）
 - (3) 主要著書・論文の別刷り 5 篇以内（著書を含め複写も可、それぞれに日本語 800 字程度の概要を附すこと）
 - (4) これまでの研究、教育活動の概要と今後の抱負（日本語 2,000 字程度）

* なお、原則として提出書類は返却しません。

11. 選考方法：提出書類に基づいて選考します。選考の過程で面接を行うことがあります。その際の交通費・滞在費等は応募者の自己負担とします。また、面接の際に模擬授業をしてもらう場合があります。選考結果は、教授会最終決定後に通知します。
12. 応募締切日：平成 27 年 4 月 30 日（木）必着
13. 応募書類提出先：〒606-8501 京都市左京区吉田二本松町
京都大学大学院人間・環境学研究科 研究科長宛
提出方法は郵送に限ります。封筒または封緘した包みの表に「地域文明論分野応募書類在中」と朱書きし、書留郵便にて送付のこと。
14. 問い合わせ先：
京都大学大学院人間・環境学研究科 共生文明学専攻 赤松紀彦
E-mail: akamatsu.norihiko.3x@kyoto-u.ac.jp（*を@に変えてください）
問い合わせは、電子メールによるものに限ります。
15. 男女共同参画
京都大学は男女共同参画を推進しています。多数の女性研究者の積極的な応募を期待します。
16. その他
提出していただいた書類は、採用審査のみに使用します。正当な理由なく第三者への開示、譲渡および貸与を行うことは一切ありません。

福岡市職員【文化学芸職】（古美術）採用選考案内

1 第1次試験日

平成27年6月14日（日）及び平成27年6月15日（月）

2 採用選考申込書等提出期限

平成27年4月15日（水）～平成27年5月8日（金）（消印有効）
〔必ず特定記録または簡易書留扱いにより郵送すること〕

3 採用区分・採用予定人員及び職務の概要

区 分	採用予定人員	職 務 の 概 要
文化学芸職 （古美術）	1 人	美術館その他教育機関等において、古美術資料（特に絵画）の収集、保存、展示、調査、研究ならびに教育普及業務に従事します。

4 採用予定日

平成27年 9月 1日以降

5 受験資格

- (1) 昭和60年4月2日以降に生まれ、次の各号のいずれかに該当する人
 - ア 大学（短大を除く。）において、博物館学、美学、美術史等に関する専門知識を修めて卒業した人で、採用予定日までに、1年以上大学院等において同分野に関する研究に従事した人又は1年以上博物館、美術館等において同分野の実務経験を有する人
 - イ 福岡市人事委員会がアに掲げる資格と同等の資格があると認める人
- (2) 次のいずれかに該当する人
 - ア 日本国籍を有する人
 - イ 出入国管理及び難民認定法に定められている永住者
 - ウ 日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法に定められている特別永住者
- (3) 地方公務員法第16条の各号のいずれにも該当しない人
【地方公務員法第16条 抄】
 - 成年被後見人又は被保佐人（準禁治産者を含む。）
 - 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの人
 - 福岡市職員として懲戒免職の処分を受け、その処分の日から2年を経過しない人
 - 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した人

6 第1次試験の日時、会場及び方法等

日時・会場	科 目 (配点)		内 容
平成27年6月14日(日) 午前10時00分から 午後5時15分まで (午前9時30分集合) 【試験会場】 福岡市博物館 (早良区百道浜3丁目1-1)	筆記試験	教養試験 (100点)	公務員として必要な一般教養についての択一式による筆記試験を行います。(120分)
		専門試験 (200点)	文化学芸職として必要な専門知識及び能力についての記述式による筆記試験を行います。(90分)
		外国語試験(100点) (英語)	英語について記述式による筆記試験を行います。(60分)
	適性検査 (参考)		クレペリン精神検査 (45分程度)
平成27年6月15日(月) 午前9時00分から 終了まで (集合時間については6月14日の筆記試験の際にお知らせします。) 【試験会場】 福岡市美術館 (中央区大濠公園1-6)	口頭試験	一般(100点)	公務員としての適格性判断 (意欲・姿勢、思考的能力、対人的能力、堅実性、情緒安定性の観点から評定します。) (一人約15分)
	問	専門(100点)	募集した職務内容の適格性判断 (文化学芸職として必要な専門知識及び能力について評定します。) (一人約15分)
	業績等評価 (100点)		提出された研究業績目録(又は実務経歴)、代表的論文等を評定します。

※ 第1次試験の合格は、第1次試験科目の総合成績により決定しますが、一定の基準に満たない試験科目がある場合は不合格となります。

※ 最終合格は、第2次試験科目の総合成績のみにより決定し、第1次試験の成績は反映されません。

※ 試験の方法・問題は、日本国籍の人、外国籍の人すべて同一です。

試験の出題は、日本語の活字印刷文により行い、解答も日本語でしていただきます。

また、口頭試問は、すべて日本語での質問・応答になります。

○第1次試験当日持参するもの

- ・受験票
- ・昼食
- ・筆記用具(教養試験は、マークシート方式のためHBの鉛筆が必要です。)
- ・プラスチック消しゴム
- ※ 時計を持参する場合は、計時機能だけのものに限りません。また、携帯電話を時計として使用することはできません。
- ※ 試験会場内での携帯電話等の使用は禁止します。入場前に必ず電源を切ってください。(マナーモード不可)
- ※ 雨天の際は各自で傘袋を用意してください。

7 第1次試験の合否及び第2次試験について

(1)第1次試験の合否の通知期日・方法については、第1次試験の際にお知らせします。

(2)第2次試験について

日 程	科目(配点)	内 容
7月中旬頃	口頭試問(100点)	総合的能力について面接試験を行います。(一人約30分)

※第2次試験の日時・会場等の詳細については、第1次試験の際にお知らせします。

8 最終合格者の発表

選考結果は第2次試験受験者全員に文書で通知します。

9 給与（平成27年4月1日現在）

約200,090円（給料＋地域手当）

この他に扶養手当、通勤手当、住居手当、期末・勤勉手当などが支給されます。

なお、経験年数に応じて一定の基準で加算されることがあります。

10 選考申込手続き

（1）提出書類

ア 採用選考試験申込書（別紙様式）

イ 研究業績目録又は実務経験歴（別紙様式）

ウ 代表的論文1編の抜刷又はコピー、自身が係わった美術館（博物館）活動の記録

エ 大学卒業証明書（大学院含む）

オ 大学成績証明書（ 〃 ）

※ 提出された書類は、一切返却いたしません。

（2）提出先（問い合わせ先）

〒810-0051

福岡市中央区大濠公園1番6号 福岡市美術館運営課

TFL092-714-6051

FAX092-714-6145

※ 提出方法は、特定記録または簡易書留扱いによる郵送のみとします。

平成27年5月8日（金）の消印があるものまで有効とします。

- ・必ず郵便局の窓口で特定記録または簡易書留扱いにし、受験票が届くまで控えを保管してください。なお、特定記録または簡易書留扱いによらない場合の事故については責任を負いません。
- ・受験者1人につき1通の郵便物で郵送してください。
- ・封筒の表に「受験申込み」と朱書きしてください。
- ・封筒の裏に受験者の住所・氏名を明記してください。

（3）受験票

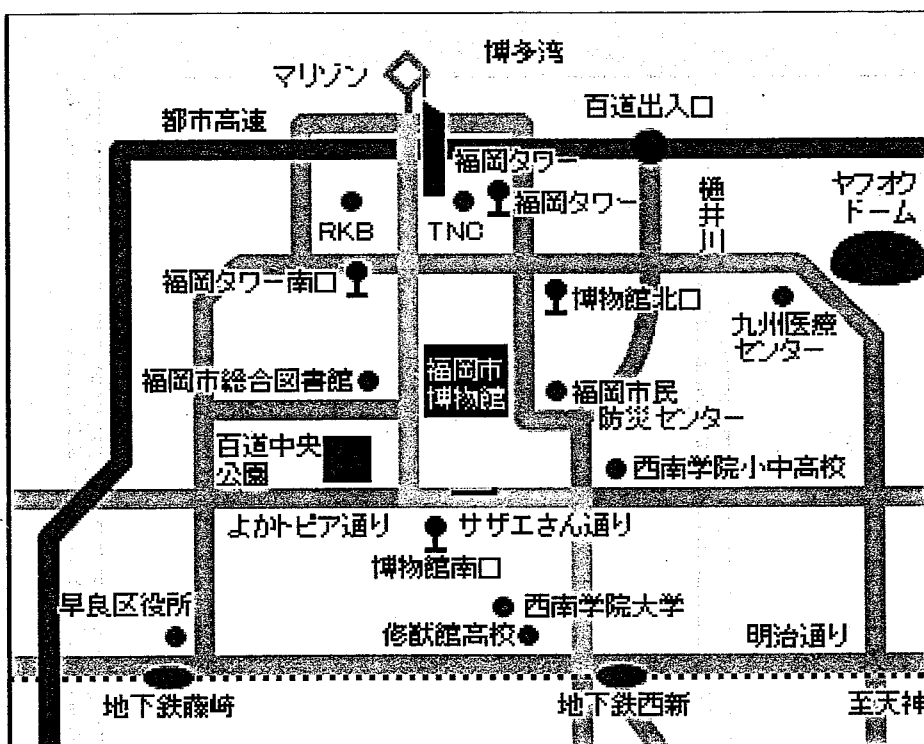
受験票は、平成27年5月27日（水）以降に申込者あてに郵送します。

平成27年6月3日（水）までに受験票が届かない場合又は受験票を紛失した場合は、

平成27年6月3日（水）午後5時30分までに、福岡市美術館・運営課（TEL 092-714-6051）に必ず連絡してください。

〔試験会場案内図〕

平成27年6月14日（日）試験会場



福岡市博物館（福岡市早良区百道浜三丁目1-1）

■市営地下鉄 *発着時刻等の問い合わせ先：お客様サービスセンター（電話092-734-7800）

西新駅(1番出口)下車 徒歩約15分

藤崎駅(3番出口)下車 徒歩約15分

■西鉄バス *発着時刻等の問い合わせ先：西鉄お客さまセンター（電話0570-00-1010）

博多駅から	博多バスターミナル1階5番、6番のりばから行先番号306、312に乗車、博物館北口または福岡タワー南口下車、徒歩5分 博多駅前Aバス停から行先番号302に乗車、博物館北口または福岡タワー南口下車、徒歩5分
天神から	天神バスセンター前1A、天神北3バス停から行先番号302、W1に乗車、博物館北口または福岡タワー南口下車、徒歩5分 天神バスセンター前1A、天神北3バス停から行先番号300、301、303に乗車、博物館南口下車
西新から	西新パレス前バス停から行先番号10、15、25、54-1、94に乗車、福岡タワー南口（終点）下車、徒歩5分 西新4丁目バス停から行先番号6に乗車、博物館南口下車
藤崎から	藤崎バスターミナル1番のりばから行先番号1、1-5、2、2-9、W1、306に乗車、博物館北口または福岡タワー南口下車、徒歩5分

*試験当日の自家用車の会場乗り入れは禁止します。必ず公共交通機関を御利用ください。

※出欠	教養	専門	外国語

募集区分		※受験番号				写真を貼る位置	
文化学芸職(古美術)		NO. _____				(1) 写真の裏面に氏名を書き、 のりをつけ、この欄にしっかりと貼ってください。シール状の写真も本体の裏に必ず記入して貼ってください。 (2) 写真は申込前6ヶ月以内に撮影した上半身、脱帽正面のものでなければなりません。 (3) 写真の大きさは、横3～4cm、縦4～5cm。 (4) 写真を貼っていない場合は受け付けませんので注意してください。	
ふりがな	性別	生年 月日	昭和 平成 満	年	月	日	
氏名	☐ 男 ☐ 女	携帯電話 ()				(平成 年 月撮影 電話 ()	
ふりがな						電話	
現住所 (〒 -)						()	
ふりがな						電話	
通知の際の連絡先 (〒 -)						()	
学歴	学校名 (最近の学歴3つについて必ず記入してください)	学部	学科・専攻	在学期間		卒業、中退、 卒業見込等の別	
(最終学歴)				平成 年 月	平成 年 月	☐ 卒業 ☐ 中退 ☐ 卒業・修了見込 ☐ その他()	
(その前)				平成 年 月	平成 年 月	☐ 卒業 ☐ 中退 ☐ 卒業・修了見込	
(その前)				平成 年 月	平成 年 月	☐ 卒業 ☐ 中退 ☐ 卒業・修了見込	
所有する免許・資格(例:普通自動車免許、教員免許、学芸員資格等) 取得(予定)年月日							
現在までの職務経歴を詳しく書いてください。職務経歴がない場合は勤務先欄に「なし」と記入してください。							
勤務先 (部課係まで)	所在地 (番地まで)	在職期間			仕事内容 (在職中であれば「在職中」と書き添えること)		
現在(最終)		平成 年 月	平成 年 月	年 月			
(その前)		平成 年 月	平成 年 月	年 月			
(その前)		平成 年 月	平成 年 月	年 月			
私は福岡市職員採用選考案内の記載内容を了承のうえ、福岡市職員の採用に係る受験の申込みをします。 なお、採用選考案内に掲げている受験資格をすべて満たしており、この申込書の記載事項はすべて事実と相違ありません。							
平成 年 月 日				氏名(自筆)			

- (注意) ・□のところは、該当するものに×印をつけてください。
・受験票・合格通知は現住所に郵送しますが、通知先の希望が現住所と異なる場合は、希望される通知先を「通知の際の連絡先」欄に記入してください。
・自筆の署名欄の日付は、記載日を記入してください。
・※印欄には記入しないでください。
・記載事項に虚偽がある場合は、採用資格を失います。

研究業績目録又は実務経験歴

氏名

[illegible]

※1 研究業績目録には、次の諸事項を記入してください。

論文…題名、記載雑誌名、発行年月日

著 書 … 題名、発行社名、発行年月日

大会発表 … 題名、大会名、発表年月日

※2 実務経験は、大学卒業後の経歴と業績を記入してください。

● 試験成績の開示について

試験成績について、本人に限り、次の要領により開示の請求をすることができます。電話等による請求はできません。

(1) 開示内容

試験	対象者（※）	開示内容
第1次試験	不 合 格 者	第1次試験における試験科目別の得点及び可否、総合点、総合順位
第2次試験	受 験 者	第1次試験における科目別の得点及び可否、総合点、総合順位 第2次試験における総合点、総合順位

※ 対象者はすべての科目を受験した人に限ります。また、第2次試験受験者への開示は、すべて最終合格発表後になります。

(2) 必要書類

ア 次のいずれかの書類

- ・ 受験票（コピー可 ※裏面がある場合は両面をコピーしてください。）
- ・ 本人であることを示す書類：運転免許証、旅券、健康保険の被保険者証、住民基本台帳カード又は特別永住者証明書（外国人登録証明書）
（いずれもコピー可（※ 氏名、住所、生年月日が確認できるようにコピーしてください。））

イ 成績開示請求書（本ページ下段の様式を切り取るか、コピーしてください。）

(3) 請求方法

ア 口頭による請求の場合：(2)の必要書類及び返信用封筒を福岡市美術館運営課まで持参してください。

イ 郵送による請求の場合：(2)の必要書類及び返信用封筒を次の要領で郵送してください。

- ・ あて先 〒810-0051 福岡市中央区大濠公園1番6号 福岡市美術館運営課
- ・ 返信用封筒には返信先を明記し、返信に必要な切手を貼ること
（定型最大封筒を使用し、普通郵便の場合：82 円、簡易書留の場合：392 円）
- ・ 送付用封筒の表に「成績開示請求」と朱書きすること

※ 郵送方法は指定しませんが、簡易書留が確実です。普通郵便による場合の事故等については、責任を負いません。

(4) 請求期間

合格者（該当者）発表の翌週月曜日から1か月間（郵送による請求の場合は消印有効）

（切り取り線）

平成 27 年度福岡市職員【文化学芸職】 （古美術）採用選考成績開示請求書

（あて先）福岡市美術館

私は、下記の選考の成績の開示を請求します。

記

請求年月日	平成 年 月 日
募集区分	【文化学芸職】（古美術）
受験番号	
氏 名	
電話番号	

<申込み及び問い合わせ先>

福岡市美術館運営課

TEL 092-714-6051 FAX 092-714-6145

〒810-0051 福岡市中央区大濠公園1番6号

英語任期付教員公募要領

1. 任用職名：助教、准教授、または教授
2. 担当科目：主として全学共通教養教育科目（英語）。および、グローバル・コミュニケーション学部専門科目（TOEFL ITP/IBT 関連科目を含む）。
3. 採用人員：1 名
4. 任用期間：2015 年 10 月 1 日～2020 年 9 月 30 日の 5 年間（任用期間満了後の契約更新はしない）
5. 応募資格
 - （1） 英語を母語とする者。
 - （2） 英語教育の分野、あるいは英語圏または日本の社会・文化に関連する学問分野で、修士以上の学位を取得している者。
 - （3） 3 年以上の英語の教育経験を有する者（大学レベルが望ましい）。
 - （4） 校務遂行に必要な日本語運用能力を有する者。
 - （5） 近畿圏に居住できる者。
 - （6） 応募時点で 2 点以上の研究業績を有する者。
6. 義務時間および業務
 - （1） 担当授業時間数は、1 週（5 日）16 時間（8 コマ）を基準とする。
 - （2） 科目担当以外に、英語のカリキュラム運営に関する業務（教材作成、登録相談等）、学期末試験の監督（他教員の担当科目の応援監督を含む）、学生の英語能力向上を支援する業務（語学カウンセリング等）、国際交流に寄与する業務、広報・入学試験関連業務（監督、採点等）等を担当する。
7. 提出書類：
 - （1） 履歴書、業績書、および、学校法人同志社内における職務経歴報告書（該当する職務経歴がない場合も「なし」と記して提出）、各 1 通。書式は同志社大学ホームページを参照のこと。
（ダウンロード可 <http://www.doshisha.ac.jp/doshisha/recruit.html>）
 - （2） 主たる研究業績 2 点以内（抜き刷り、コピー可。各々英語で 300 語以内の要約を付すこと）。
 - （3） 応募理由書（これまでの教育実績および今後の教育・研究計画について英語で 1,000 語程度、あるいは日本語 2,000 字程度にまとめたもの）を 1 部。
 - （4） 学位証明書（修士、もしくは博士課程修了証明書）のコピー。
 - （5） TESOL の資格（diploma または certificate）を有する者は、その証明書類のコピーを 1 部。
 - （6） 日本語能力を証明する書類（日本語能力試験など）を有する者は、その証明書類のコピーを 1 部。
8. 応募締切日：2015 年 5 月 8 日（金）17 時まで必着のこと。
9. 提出先および問い合わせ先：〒610-0394 京都府京田辺市多々羅都谷 1-3
同志社大学グローバル・コミュニケーション学部
学部長 中村 久男

注) なお、封筒の表に「英語任期付教員応募書類在中」と朱書し、必ず書留便で送付すること（宅配便可）

※本件に関する問合せは、e-mail (jt-gcjm@mail.doshisha.ac.jp) でお願
致します。（電話での問合せはご遠慮ください。）

10. その他

- (1) 選考の過程でその他の業績の提出を求めることがある。
- (2) 必要な時点で学位証明書等の原本の提示を求める。
- (3) 必要に応じて（英語および日本語による）面接を行う。また、模擬授業の実施を求めることがある。
- (4) 面接の際の交通費は、本学部の規定に基づいて支給する。
- (5) 選考結果については、選考終了次第、直接本人に通知する。
- (6) 上記7の提出書類は原則として返却しない。

提出いただいた書類は厳重に保管・管理し、審査終了後は責任を持って破棄します。
また、提出いただいた書類に含まれる個人情報、個人情報保護法に基づき、選考以
外の目的には使用いたしません。

以 上

One Limited-term Contract Teaching Position, Beginning October 2015
English Course, Faculty of Global Communications, Doshisha University

Position: Assistant Professor, Associate Professor or Professor, depending on qualifications

Courses: English at all undergraduate levels for all faculties in the university and major courses for the Faculty of Global Communications (including TOEFL ITP/iBT related courses)

Contract Period: From October 1, 2015 to September 30, 2020 (non-renewable)

Qualifications and Application conditions (All of the following must be satisfied):

- 1) First language is English
- 2) Holder of a Master's degree or above in the area of English language education (TESOL) or in an academic field related to English-speaking or Japanese culture and society.
- 3) At least three years' English teaching experience, preferably at the university level
- 4) Sufficient Japanese proficiency for general administrative tasks
- 5) Resident of the Kinki area of Japan during the contract period
- 6) At least two academic publications

Responsibilities:

- 1) Teaching load: A minimum of eight 90-minute classes per week, spread over five days
- 2) Administrative responsibilities: Involvement in curriculum design and planning; language counseling; registration, invigilation and entrance examination duties; contributions to Doshisha's international exchange programs; PR activities for recruiting new students (including demonstration lessons at some university events)

Application materials

- 1) Curriculum Vitae (履歴書, *rirekisho*), a list of academic publications (業績書, *gyosekisho*), and a list of previous work experience within Doshisha schools (職務経歴報告書, *shokumukeireki-houkokusho*) [if not applicable, please write "NA" or "なし" in the form]. The necessary forms can be downloaded from the university website:
<http://www.doshisha.ac.jp/doshisha/recruit.html>
- 2) One offprint/copy of each of two academic publications, with an English synopsis (up to 300 words) for each publication
- 3) Statement in English (about 1,000 words), explaining the reason for applying, including personal philosophy/comments regarding teaching methods
- 4) Copy of either Master's degree certificate or Doctorate certificate
- 5) Copy of TESOL diploma/certificate (if available)
- 6) Copy of document(s) certifying qualification at a certain level of the Japanese Language Proficiency Test (JLPT) or similar measurement of Japanese proficiency (if available)

Deadline for application: Application materials must arrive by 5 p.m., Friday, May 8, 2015, via registered mail (*kakitome*) or commercial parcel delivery (*takuhaibin*).

Send applications to: Professor Hisao NAKAMURA, Dean
Faculty of Global Communications
Doshisha University
1-3 Tatara Miyakodani, Kyotanabe
Kyoto 610-0394
Japan

N.B. Please print "Application Documents (Contract)" in red on the face of the envelope.

Please note:

- 1) After receipt of initial application materials, requests may be made for additional items.
- 2) We may request to see original degree certificates/diplomas.
- 3) Upon completion of initial screening procedures, final candidates will be interviewed in both English and Japanese, and may be asked to give a demonstration lesson.
- 4) For those candidates who are requested to come to Doshisha for an interview, partial funding for transportation costs may be available according to the Faculty's regulations regarding such funding.
- 5) Candidates will be directly notified of the results upon completion of the process.
- 6) Application materials cannot be returned.

*For inquiry regarding this recruitment, please e-mail: jt-gcjm@mail.doshisha.ac.jp

Application materials will be retained by the Faculty of Global Communications and will be safely disposed of after the selection. Personal information will not be used for purposes other than the selection, according to the Protection of Personal Information Law of Japan.

各関係機関の長 殿

長崎大学多文化社会学部長 佐久間 正

長崎大学多文化社会学部教員の公募について

謹啓 時下ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

このたび、長崎大学多文化社会学部では、英語学、言語学、応用言語学及びその関連分野の授業を担当する教員を募集することになりました。

ついては、貴機関の職員への御周知方よろしくお願い申し上げます。

なお、本学は、男女共同参画を推進しています。女性研究者の積極的な応募を歓迎します。

敬白

記

1 多文化社会学部について

長崎大学は、人文社会系教育研究領域を新たに導入することによって、総合大学としての基盤を強化し、人文社会系グローバル人材育成という社会の強い要請に応えるために、多文化社会学部を平成26年度に開設しました。多文化社会学部の詳しいコンセプトは、多文化社会学部ホームページ (<http://www.hss.nagasaki-u.ac.jp/>) を御覧下さい。

また、人文社会系大学院の設置も構想しています。

2 公募分野

英語学、言語学、応用言語学及びその関連分野

多文化社会学部の専門教育科目を担当していただきますが、専門基礎教育科目及び教養教育科目（外国語英語）も担当していただきます。

3 公募職種

教授又は准教授 1名

※ 長崎大学多文化社会学部は、現在学年進行中であるため、採用が決定した後で、教員資格について大学設置・学校法人審議会による教員資格審査を受審していただく必要があります。

4 応募要件

- (1) 博士の学位（又はこれに準ずる研究業績）を有すること。学位取得見込みの者にあつては、取得予定時期についての説明と主査による証明を添付すること。
- (2) 国際交流を推進する能力と意欲を有すること。
- (3) 大学運営に関する業務を遂行する意思を有すること。

- (4) 日本語が母語でない場合は、日本語で日常業務が遂行できること。
- (5) 英語で授業ができること。

5 着任時期

平成28年4月1日予定

6 提出書類

それぞれ正本1通, 写し1通(推薦状又は所見を伺える方の氏名, 連絡先は写し不要)を提出してください。様式があるものについては下記 URL からダウンロードして使用してください。

- (1) 履歴書(様式1)
- (2) 業績目録(様式2)
- (3) 著書, 学術論文等の別刷・・・・・・全て提出してください(コピー可)
- (4) 外部資金の獲得実績(様式3)
- (5) 教育に関する抱負(様式4)
- (6) 研究計画書(様式5)
- (7) 推薦状又は所見を伺える方の氏名, 連絡先(様式任意)・・・・・・2名以内

7 応募締切日

平成27年5月7日(木) 17時必着

8 留意事項

- (1) 応募書類は, 原則として返却しません。
- (2) 選考過程において, 教育研究に関する講演, 模擬授業, 面接等のために御来学いただくことを予定しております。その際の交通費は, 自己負担をお願いします。
- (3) 選考中に他大学等の教員候補者となることを御承諾された場合には, 文書で学部長宛御連絡くださるようお願いいたします。

9 提出先

〒852-8521 長崎市文教町1-14
長崎大学多文化社会学部総務班 宛

※ 提出書類は, 封筒の表に「多文化社会学部教員応募書類在中」と朱書きの上, 必ず郵便書留等の配達状況が確認できるものにより送付してください。

10 様式ダウンロード用 URL

<http://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/about/info/career/kyoin/index.html>

11 本件に関する問合せ先

長崎大学多文化社会学部総務班
TEL: 095-819-2934 E-mail: hss_soumu@ml.nagasaki-u.ac.jp

記 載 上 の 注 意 事 項

1 履歴書(様式1)

- (1) 「生年月日(年齢)」の欄の年齢には、現時点における満年齢を記入してください。
- (2) 「国籍」の欄には、当該教員が外国籍である場合にのみ国名を記入してください。
- (3) 「学歴」の欄について
 - ① 大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上と認められる学校卒業以上の学歴(大学の別科及び専攻科を含む。)を有する場合、すべての学歴(授与された学位及び称号を含む。)を記入し、それ以外の場合には、最終学歴を記入してください。なお、博士課程において所定の単位を取得し博士の学位を授与されないまま退学した場合には、「博士課程単位取得後退学」と記入してください。
 - ② 学位については、付記された専攻分野の名称及び学位論文の題目を併記してください。
 - ③ 教員等の資格についても記入してください。この場合、登録番号等も併記してください。外国における資格にあつては、正確に記入するとともに、その資格の内容を日本語で併記してください。
 - ④ 学生としての外国の大学や研究機関等への留学歴についても記入してください。
 - ⑤ 外国の大学等の経歴を記載する場合は、大学等の名称や学位等はアルファベットとカタカナを併記し、国名を必ず記載してください。職歴についても同様に扱ってください。
- (4) 「職歴」の欄について
 - ① すべての職歴(自営業、主婦、無職等を含む。)を記入するとともに、職名、地位等についても明記してください。
 - ② 各職歴について在職期間を明確にし、現職については「現在に至る」と記入してください。
 - ③ 研究者としての外国の大学や研究機関等への赴任歴についても記入してください。
 - ④ 過去における大学設置・学校法人審議会による教員組織審査において教員の資格があると認められた場合には、当該審査に係る時期、大学の名称、職位及び担当授業科目の名称(大学院にあつては、判定結果を含む。)を記入してください。また、過去における高等専門学校の教員資格の認定を受けた場合には、当該認定に係る時期、高等専門学校の名称、職位及び担当授業科目の名称を記入してください。
 - ⑤ 大学教員の職歴については、主な担当授業科目を併記してください。
- (5) 「学会及び社会における活動等」の欄について
 - ① 「現在所属している学会」には、現時点において所属する学会の名称を記入してください。役員等に就いている場合は、役職名を記入してください。
 - ② 学会及び社会における活動等のうち、専攻や研究分野等に関連する事項を記入してください。
 - ③ 教育研究上の業績を有する場合、その内容を具体的に記入してください。
- (6) 「賞罰」の欄には、学会や出版社からの表彰や職務上の表彰や懲戒処分、研究費の不正受給に係る処分等を記入してください。
- (7) 「職務の状況」の欄について
 - ① 「現在の職務の状況」
 - ア 現時点における職務の状況について記入してください。
 - イ 「職名」については、大学等の教員の場合は、「教授」、「准教授」等の職位を記入してください。大学以外の職に従事している場合は、「取締役」、「理事」等の職名を記入してください。職名が無い場合は「―」を記入してください。
 - ウ 勤務状況については、大学等の教員の場合は、担当授業科目を記入してください。大学以外の職に従事している場合は、職務の内容を簡潔に記入してください。
- (8) 「言語能力」の欄について
 - ① 言語能力の熟達度について、下欄の評語の中から該当するものを記入してください。なお、母語については、「母語」と記入してください。
 - ② 資格、免許、試験スコアなどについて、該当するものがある場合は、記入し、その写しを提出してください。
 - ③ 英語、日本語以外で運用力を有する言語がある場合は、空欄に上記の①、②と同じ要領で記入してください。

(9) その他

- ① 6か月以内に撮影した写真を貼付してください。
- ② 連絡先には、電話番号及びメールアドレスを明記してください。

2 業績目録（様式2）

- (1) 「研究業績等に関する事項」には、書類の作成時において未発表のものは記入できません。
- (2) 「著書、学術論文等の名称」の欄について
 - ① 研究等に関連する主要な業績を、「(著書)」、「(学術論文)」、「(その他)」の項目に適切に区分し、各業績を発表順（過去→現在）に通し番号を付して記入してください。
 - ② 著書については、書名を記入してください。
 - ③ 学術論文については、国際学術雑誌、学会機関紙、研究報告等に学術論文として発表したものの題名を記入してください。学位論文については、その旨を明記してください。
 - ④ その他については、総説、学会抄録、依頼原稿等にあつては当該記事のタイトルを、報告発表、座談会、討論等にあつては当該テーマを記入してください。
 - ⑤ 査読付きの論文については、題名の後に「(査読付)」と記載してください。
- (3) 「単著・共著」の欄には、当該著書等に記載された著作者が単独である場合には「単著」、著作者が複数いる場合には、監修、編集、編著、共著、部分執筆等の関わり方によらず「共著」と記入してください。
- (4) 「発行又は発表の年月」の欄には、当該著書等の発行又は発表の年月を記入してください。
- (5) 「発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称」の欄について
 - ① 著書については、発行所を記入してください。
 - ② 学術論文等については、発表雑誌等の名称、巻・号、掲載ページ等を明記してください。
 - ③ 報告発表等の場合には、学会大会名、開催場所等を明記してください。
- (6) 「概要」の欄について
 - ① 当該著書等の概要を200字程度で記入してください。
 - ② 当該著書等が共著の場合には、本人の担当部分の章、節、題名、掲載ページを記入するとともに、本人の氏名（下線を付すこと。）を含め著作者全員の氏名（多数にわたる場合は主要な共著者の氏名）を当該著書等に記載された順に記入してください。また、本人の担当部分の抽出に困難があるときは、その理由を記入してください。

3 著書、学術論文等の別刷

- (1) 著書、学術論文等の別刷について、全て（コピー可）提出してください。
著書については、表紙と分担部分のコピーでも差し支えありません。
- (2) 未印刷の学術論文等については、その原稿又はそのコピーに掲載受理の承諾書を添付してください。
- (3) 別刷は、業績目録（様式2）の番号を別刷に記載の上、順番に並べて提出してください。

4 外部資金の獲得実績（様式3）

- (1) 研究代表者及び研究分担者としての科学研究費、その他の助成金（種類、課題名）の受領状況を記入してください。なお、研究分担者の場合は、分担金が配分されているものに限りです。

5 教育に関する抱負（様式4）

- (1) 教育に関する抱負について、2000字程度にまとめて記入してください。

6 研究計画書（様式5）

- (1) 研究計画について、2000字程度にまとめて記入してください。

7 推薦状又は所見を伺える方の氏名、連絡先（様式任意）

- (1) 所見を伺える方を御紹介くださる場合は、応募者について忌憚のない御意見を伺える方（2名以内）を記載してください。様式は任意ですが、所見を伺える方の連絡先について、次の事項を明記してください。
 - ① 氏名、② 所属・役職、③ 電話番号、④ メールアドレス

履 歴 書				
フリガナ		性別		写 真 貼付欄
氏 名				
生年月日 (年齢)	年 月 日 (満 歳)	国籍		
現 住 所	〒			
連絡先 (電話番号)				
連絡先 (メールアドレス)				
学 歴				
年 月	事 項			
年 月				
年 月				
年 月				
職 歴				
年 月	事 項			
年 月				
年 月				
年 月				
学 会 及 び 社 会 に お け る 活 動 等				
現在所属している学会				
年 月	事 項			
年 月				
年 月				
年 月				
賞 罰				
年 月	事 項			
年 月				
年 月				
年 月				
現 在 の 職 務 の 状 況				
勤 務 先	職名	学部等又は所属部局の名称	勤 務 状 況	
言 語 能 力 (母語を含む)				
言 語	熟達度※		資格, 免許, 試験スコアなど	
英 語				
日 本 語				
※ 初級(Beginning), 中級(Intermediate), 中上級(Advanced Intermediate), 上級(Advanced), 熟達(Proficient), 母語				
上記のとおり相違ありません。				
年 月 日				
氏名				印

業 績 目 録				
				年 月 日
				氏名 印
研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項				
著書, 学術論文等の名称	単著・ 共著の別	発行又は 発表の年月	発行所, 発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
(著書)				
1				
2				
3				
4				
5				
:				
(学術論文)				
1				
2				
3				
4				
5				
:				
(その他)				
1				
2				
3				
4				
5				
:				

[illegible]

教 育 に 関 す る 抱 負

年 月 日
氏名 印

教育に関する抱負について、2000字程度にまとめて記入してください。

研 究 計 画 書			
氏 名		年 月 日	印
研究計画について、2000字程度にまとめて記入してください。			

第 201400186665 号

平成 27 年 3 月 9 日

大学関係者各位

鳥取県教育委員会教育長

(公 印 省 略)

平成 27 年度鳥取県職員採用候補者選考試験受験案内[文化財主事
(正職員及び任期付職員)]の配布について(依頼)

当県教育委員会において、別添「平成 27 年度鳥取県職員採用候補者選考試験
[文化財主事(正職員及び任期付職員)]」により、文化財主事を募集することと
しました。

つきましては、募集案内を送付しますので、お忙しいところ恐れ入りますが、
周知等について御協力いただきますようよろしくお願いいたします。

なお、追加の募集案内が必要な場合は、お手数ですが下記へ御連絡ください。

また、募集案内は鳥取県公式ホームページ(とりネット)、鳥取県教育委員会ホ
ームページにも掲載しています。

記

1 連絡先

〒680-8570

鳥取市東町一丁目271番地

鳥取県教育委員会事務局文化財課 担当：土山

(電話 0857-26-7523)

2 ホームページアドレス

鳥取県公式ホームページ

<http://www.pref.tottori.lg.jp/>

鳥取県教育委員会ホームページ

<http://www.pref.tottori.lg.jp/kyouiku/>

**平成27年度
鳥取県職員採用候補者選考試験受験案内
〔文化財主事（正職員及び任期付職員）〕**

◆鳥取県教育委員会事務局教育総務課◆

〒680-8570 鳥取市東町一丁目271 鳥取県庁第2庁舎5階

電話 (0857)26-7578 インターネット <http://www.pref.tottori.lg.jp/kyouiku/>

1 受付期間・試験日・試験会場・合格者発表日

受付期間	平成27年3月9日(月)～平成27年4月30日(木)【必着】 ◎持参の場合の受付時間 8:30～17:15 (土曜日、日曜日及び祝日は閉庁日のため受け付けておりません。) ◎持参、郵便のどちらでも受け付けます。<u>平成27年4月30日(木)必着</u> ※申込みは、<u>できるだけ郵便又は信書便で早めに行ってください。</u>
第1次試験	平成27年5月17日(日) ○開場時刻 9:30 ○試験開始時刻 10:00 【試験会場】 ①鳥取会場 鳥取県庁講堂(鳥取市東町1丁目220:県庁本庁舎) ②大阪会場 鳥取県関西本部交流室 (大阪駅前第3ビル 22階(大阪市北区梅田1-1-3-2200))
第1次試験 合格発表日	平成27年5月29日(金)(予定)
第2次試験	平成27年6月14日(日) 【試験会場】 鳥取県庁会議室(鳥取市東町1丁目220) ※集合時間及び会場は、第1次試験の合格通知の際にお知らせします。
第2次試験 結果発表日	平成27年6月26日(金)(予定)

2 募集職種・採用予定者数・職務内容・主な配属先

職種区分	採用 予定者数	職 務 内 容	主な配属先
文化財主事 (正職員)	1名 程度	文化財の保存や活用に関する調査や事業の企画立案、市町村・文化財所有者への助言、補助金業務、埋蔵文化財の発掘調査に関する事務等	教育委員会事務局文化財課、埋蔵文化財センター等
文化財主事 (任期付職員)	4名 程度	埋蔵文化財の発掘調査に関する事務等	埋蔵文化財センター等

(注)・採用予定者数は、今後変更になる場合があります。

・今後の予算、定数等の状況によっては、募集又は採用を中止することがあります。

・配属先として、公益財団法人鳥取県教育文化財団へ派遣する場合があります。

3 受験資格

(1) 次のいずれかに該当する人

- ①大学又は大学院で考古学又は歴史学を専攻して卒業（修了）した人
- ②大学又は大学院を卒業（修了）したのち、発掘調査員に相当する職に6ヶ月以上従事した経験のある人（ただし、発掘調査補助員及び発掘作業員を除く。）

(2) 任期付職員は年齢要件はありません。正職員は昭和54年4月2日以降に生まれた人。

(3) 日本国籍を有しない人については、活動に制限のない在留の資格を取得している人又は平成27年8月31日までにこの資格を取得する見込みの人に限り受験できます。

(4) 地方公務員法第16条に該当する人（次のいずれかに該当する人）は受験できません。

- ・成年被後見人、被保佐人（準禁治産者を含む。）
- ・禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者
- ・鳥取県職員として懲戒免職の処分を受け、その処分の日から2年を経過しない者
- ・日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

4 試験内容

試験種目		配点	内 容
第1次試験	専門試験	100点	〔多肢選択式20問（1時間）〕 文化財主事に必要な専門的知識についての筆記試験 ※出題分野：考古学、歴史学及び埋蔵文化財の調査等に関する知識
	論文試験	50点	〔1問（1時間）〕 公務員として必要な識見、思考力、表現力などの能力についての筆記試験
	実技試験	150点	〔2時間〕 土器の実測に関する実技試験 ※コンパス、ディバイダー、キャリパー、真弧（マーコ）、定規（三角、直）を持参すること。
第2次試験	専門試験	120点	〔記述式3問（1時間30分）〕 文化財主事に必要な専門的知識についての筆記試験 ※出題分野：考古学、歴史学及び埋蔵文化財の調査等に関する知識
	人物試験	200点	個別面接等による人物及び専門的知識についての口述試験〔15分程度〕

5 採用予定日及び任期付職員の任用期間

採用予定日	採用は、原則として平成27年9月1日の予定です。
任期付職員の任用期間及び採用予定日	平成27年9月1日から平成30年3月31日まで (採用は、原則として平成27年9月1日の予定です。 また、採用された日から5年を超えない範囲内において、任期を更新することがあります。)

6 合格者の決定方法等

- (1) 第1次試験の合格者は、専門試験、論文試験、実技試験の得点を合計し、職種区分ごとに得点の高い順に決定します。(複数の職種を選択された場合は、選択した区分ごとに順位を決定します。)。
なお、各試験の得点にはそれぞれ一定の基準があり、この基準に満たない場合は、第1次試験の得点にかかわらず不合格とします。
- (2) 第2次試験は、第1次試験の合格者に対して行います。
- (3) 最終合格者は第1次試験及び第2次試験の得点を合計し、職種区分ごとに得点の高い順により決定します。(複数の職種を選択された場合は、選択した区分ごとに順位を決定します。)。
なお、各試験の得点にはそれぞれ一定の基準があり、この基準に満たない場合は、試験の合計得点にかかわらず不合格とします。
また、試験の結果によっては合格者がいない場合及び補欠合格を行う場合があります。
- (4) 補欠合格者は、平成27年8月31日までに合格者の採用辞退、取消、欠員等が発生した場合に順次採用します。
なお、欠員等の発生状況によっては補欠合格者として登録されても採用されない場合があります。
- (5) 合格者決定後、採用までに受験資格の確認のため職歴証明書等を提出していただく場合があります。
なお、申込書等の記載事項に虚偽があると、採用されない場合があります。

7 合格者の発表

合格者の受験番号を鳥取県教育委員会のホームページに掲載するとともに、受験者全員に合否を通知します。

8 試験結果の開示

この採用試験の結果は、鳥取県個人情報保護条例第19条第1項の規定により、口頭で開示を請求することができます。開示内容等は次の表のとおりです。

開示する試験の種類	開示請求ができる者	開示の内容	開示期間	開示場所
第1次試験	受験者本人	試験種目ごとの得点及び第1次試験の順位	それぞれの合格者発表日から1年間	鳥取県教育委員会事務局 教育総務課 (県庁第2庁舎5階)
第2次試験		試験種目ごとの得点及び総合順位		

試験結果の開示の請求は、受験者本人が運転免許証、学生証等の写真により本人が確認できるものを持参して、直接開示場所へおいでください。電話、はがき等による請求では開示できませんので注意してください。

受験者本人が、病気等やむを得ない事情により来庁できない場合は、代理人による開示請求も可能です。手続等の詳細については、鳥取県教育委員会事務局教育総務課までお問い合わせください。

また、希望者には郵送により試験結果を通知しますので、通知を希望される方は、82円切手を貼ったあて先明記の通知用封筒〔長形3号(12.0cm×23.5cm)〕を試験日当日に持参してください。

9 給与

平成27年9月1日現在における初任給(月額)は次の金額となる見込みです。

197,700円(大学卒) 219,300円(大学院修士課程修了)

なお、一定の職歴等がある人については、その経歴に応じて所定の金額が加算されます。

正職員は原則として、昇給が毎年1回行われますが、任期付職員は任期中の昇給はありません。

このほか、扶養手当、住居手当、通勤手当、期末手当、勤勉手当、時間外勤務手当などの諸手当がそれぞれの条件に応じて支給されます。

また、採用時までに給与改定があった場合は、それによります。

10 受験申込手続

提出書類	申込書 1 部・・・「受験申込書記載要領」をよく読んで、受験申込書に必要事項を記入の上、提出してください。 なお、発掘調査員に相当する職に 6 ヶ月以上従事した経験のある人の場合、ご自身が携わった発掘調査の内容がわかる報告書等の写し(例言及び調査員氏名の記載部分のみ)を受験申込書に同封して提出ください。 連絡用封筒 1 通(受験票送付用) ・・・82円切手を貼り、郵便番号、送付先住所、宛名を明記した封筒〔長形 3 号(12.0cm×23.5cm)〕を提出してください。
申込先	鳥取県教育委員会事務局教育総務課人事担当 〒680-8570 鳥取市東町一丁目271 鳥取県庁第2庁舎5階 電話：(0857)26-7578 [持参により申し込む場合] 提出書類を作成の上、上記の鳥取県教育委員会事務局教育総務課へご持参ください。 [郵便又は信書便により申し込む場合] 上記の宛先へ送付してください。 ※封筒の表に赤字で「文化財主事受験」と書いてください。 ※郵便で申し込む場合は、配達記録によるのが確実です。(郵便局又は信書便事業者で交付される受領証等は、受験票が届くまで大切に保管しておいてください。)
受験票の交付	・提出書類は返却しません。 ・受験票は、後日郵便により送付しますが、5月13日(水)までに到着しないときは、鳥取県教育委員会事務局教育総務課人事担当に問い合わせてください。

11 個人情報の取扱いについて

本試験実施に際して収集する個人情報については、採用者の選考等採用手続以外には利用しません。

受 験 申 込 書 記 載 要 領

- 1 記載事項に不正があると受験が無効となる場合があります。
- 2 黒又は青のボールペン又は万年筆を用い、※欄を除くすべての欄にもれなく記入してください。該当する□の中にはレ印を付けて、その他の該当する項目は○で囲んでください。
- 3 現住所及び緊急連絡先は、棟、号室まで正確に記入してください。携帯電話のある場合はその番号も記入してください。
緊急連絡先が現住所と同じ場合は、「同上」と記入してください。
なお、この現住所に試験合格通知を送ります。転居予定がある場合は、その旨を余白に記入し、試験合格通知の宛先を明示してください。
- 4 身体に障がいのある方で、車イスの使用など試験実施時に何か配慮が必要な場合は、連絡事項欄に記入してください。

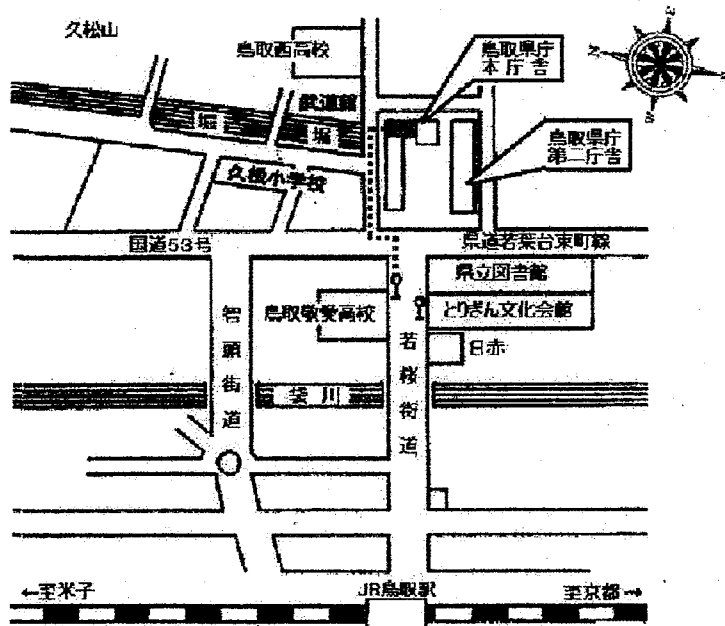
第1次試験に関する注意事項

- 1 試験当日は、必ず試験開始時刻までに掲示や係員の指示に従って試験室に入室してください。原則として、遅刻者は受験できません。
- 2 受験の際は受験票、筆記用具(HB又はBの鉛筆若しくはシャープペンシル、消しゴム)、実技試験用具及び昼食を持参してください。
時計を持参する場合は、計時機能だけのものに限りです。携帯電話を時計として使用することは認めません。

試験会場案内図

鳥取会場

鳥取県庁周辺図



※当日は、県庁正面玄関は閉まっていますので、北側（久松山側）の職員通用口からお入りください。

※会場へは、鉄道、バス等の公共交通機関を利用してください。

※公共交通機関の利用の際は、携帯電話やパソコンから出発地・目的地を入力するだけで最も便利な経路（バス路線、乗車・下車する駅・バス停等）が最新ダイヤの運行時刻付きで表示される「バスネット」(<http://www.ikisaki.jp>) が便利ですので御利用ください。

大阪会場



＜最寄の駅＞

- JR大阪駅 徒歩5分
- 地下鉄 御堂筋線「梅田駅」徒歩5分
- 谷町線「東梅田駅」徒歩5分
- 四つ橋線「西梅田駅」徒歩5分

**平成27年度鳥取県職員採用候補者選考試験
〔文化財主事（正職員及び任期付職員）〕 受験申込書**

私は、鳥取県職員採用候補者選考試験〔文化財主事（正職員及び任期付職員）〕を受験
したいので申し込みます。

なお、この申込書の記載事項は事実と相違ありません。

平成 年 月 日

(写真欄)

申込前6ヶ月以内に無
帽で正面から上半身を写
した縦4.5cm、横3.5cmの
写真を貼付してください。

(ふりがな)

氏 名
(自筆)

※受験番号

生年月日

昭和・平成

年

月

日

性別

国 籍

☐ 日本国籍 ☐ 外国籍

(ふりがな)

現住所 〒

[電話 () - 携帯電話 -]

(ふりがな)

緊急連絡先 〒

[電話 () -]

希 望 職 種
区 分

正職員 () ・ 任期付職員 ()

注：希望する職種の () に○を、両方の職種に希望する場合は、希望順位を () に数字
で記入してください。

最 終 学 歴

学 校 名

学部・学科・専攻等

在学期間

昭和・平成 年 月～昭和・平成 年 月 (卒・修了・卒見・修了見・その他)

職 歴

勤 務 先 名

所 在 地

在 職 期 間

職 務 内 容

S・H 年 月～S・H 年 月

S・H 年 月～S・H 年 月

S・H 年 月～S・H 年 月

発 掘 調 査 歴

注：発掘調査の内容がわかる報告書等の写し(例言及び調査員氏名の記載部分のみ)を添付してください。

調査機関(大学を含む)

職 名

発掘調査従事期間

調 査 遺 跡 名

S・H 年 月～S・H 年 月

S・H 年 月～S・H 年 月

S・H 年 月～S・H 年 月

希望する第1次試験会場 (どちらかに○をしてください)

鳥 取 会 場 ・ 大 阪 会 場

※印の欄は、記入しないでください。

裏面へ続く→

免許・資格欄

取得年月	資格・免許

志望動機、アピールポイントなど

[illegible]

連絡事項（身体に障がいのある方で、車イスの使用等試験実施時に何か配慮が必要な場合に記入してください。）

[illegible]

准教授公募要項（近現代「人の移動と定住」）

国立歴史民俗博物館では、大学共同利用機関として歴史・考古・民俗及び関連諸科学による共同研究を推進し、その成果を研究論文及び展示などの形で広く国内外に公開している。

今回、近現代における人の移動と定住についての歴史と文化に関する諸資料の基礎的解析能力をもち、特定の地域や時代を対象とした国際的な人の移動に関する実証的な研究業績を有する研究者を公募する。対象としては帝国期の日本の勢力圏に関わっていることとする。自らの専門だけでなく、今日的視点から新たな問題設定のもとに統合化をはかり、歴史的視野や地域的広がりをもつた人の移動に関心があり、民俗学・人類学・社会学・地理学などの領域横断的な視野の下で国際的な共同研究や展示等を学際的に主宰する能力を有し、本館の博物館活動を推進し得る者を求める。

【公募記号：2015- B】

1. 職 名：准教授（研究教育職員）
2. 応募条件：博士の学位を取得した者、または同等の研究能力を有する者。
研究業績の条件として、論文5本以上（レフェリー付き論文2本以上を含むこと）、または専門性の高い著書（単著）1冊以上。
研究を遂行するために必要な語学力を習得していることが望ましい。
3. 募集人数：1名
4. 応募期限：平成27年5月31日（日）（本館必着）
5. 採用予定日：平成27年11月1日以降、可能な限り早い時期とする。
6. 選考方法：第一次選考として書類審査、第二次選考として面接試験を行う。ただし、適任者がいない場合は採用しない。なお、面接試験の旅費は本人負担とする。
7. 提出書類：下記の（1）～（5）
 - （1）国立歴史民俗博物館教員応募出願書・・・・・・・・・・（別紙様式1）1部
 - （2）履歴書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（別紙様式2）1部
 - （3）研究業績目録・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（別紙様式3）1部注1：主要な研究業績を新しいものから順に記入すること。
注2：「別紙様式1～3」については、ホームページからダウンロード可。
（アドレス：<http://www.rekihaku.ac.jp/others/employment.html>）
 - （4）審査を希望する著書1冊、または論文3編（公募要項に関するもの、写しでも可）。
注1：審査を希望する研究業績については、既発表の著書・論文に限る。外国語の業績については日本語訳をつけること。
注2：掲載を予定して発行者が受理済みのものについては、校正刷りおよび発行者の掲載証明書等を添付すること。
 - （5）本館に採用された場合の研究計画および博物館活動（総合展示）に関する抱負を日本語で3,000字以内にまとめたもの・・・・・・・・・・・・・・・・・・1部
（注）提出された書類は返却しないが、（4）の著書等が原本の場合は返却する。
8. 書類提出先：〒285-8502 千葉県佐倉市城内町1-17番地
人間文化研究機構 国立歴史民俗博物館職員係 宛
注1：郵送の場合は、封筒の表に必ず「准教授公募関係【2015- B】」と朱書きし、書留とすること。
9. 事務担当：管理部総務課職員係 電話 043-486-6472, 4660

別紙様式 1

公募記号 _____ :

(応募する公募記号をご記入ください)

国立歴史民俗博物館教員（准教授）応募出願書

年 月 日

人間文化研究機構
国立歴史民俗博物館長 殿

応募者氏名 _____ 印

准教授（ _____ ）の公募について応募をします。
審査を希望する著書・論文は下記のとおりです。

記

審査希望著書・論文名

1. _____

2. _____

3. _____

別紙様式 2

履 歴 書

履歴書－ 1 年 月 日現在

ふりがな				男・女	年 月 日生 (歳)	写 貼 真 付
氏 名						
ふりがな		〒				
現住所						
TEL (自宅)						
TEL (勤務先)						
E-mail (任意記入)						
年	月	日	学 歴 (高校卒業から記入)			
年	月	日	職 歴 (常勤・非常勤及び期間を明記)			
年	月	日	海外研究歴 (場所・期間・身分・研究テーマ)			

研 究 等 業 績 目 録

氏 名 _____

No. _____

著書，学術論文等の名称	単著・ 共著の 別	発行又は 発表の年月	発行所，発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
(著書) 1				
(学術論文) 1				
(その他の研究業績) 1				
プロジェクト名 又は研究題目	役割	従事した期間	参画した博物館・ 研究機関等の名称	概 要
(博物館・研究機関活動) 1				

※共著の場合は分担内容を明記すること

公募記号、日付、氏名（要捺印）、応募
する分野、審査を希望する著書等を必
ず記入してください。
なお、記載事項について記入漏れがあ
る場合は、審査対象外となりますの
で、ご注意ください。

（ 記 入 例 ）

別紙様式 1

公募記号 ： 2015-B

（応募する公募記号をご記入ください）

国立歴史民俗博物館教員（准教授）応募出願書

2015 年 ● 月 ●● 日

人間文化研究機構

国立歴史民俗博物館長 殿

応募者氏名 佐 倉 太 郎 (印)

准教授（近現代「人の移動と定住」）の公募について応募をします。審査を希望する
著書・論文は下記のとおりです。

記

審査希望著書・論文名

1. ○○○○・・・

2. □□□□・・・

3. △△△△・・・

(記 入 例)

別紙様式 2

履 歴 書

履歴書－1

2015年 月 日現在

ふりがな	さくら たらう		男	1976年 4月20日生 (満38歳)	写 貼 真 付
氏 名	佐 倉 太 郎		女		
ふりがな	〒285-8502 さくらしじょうないちょう				
現住所	佐倉市城内町117				
TEL (自宅)	043-123-△△△△				
TEL (勤務先)	043-486-△△△△				
E-mail (任意記入)	Sakura-t@rekihaku.ac.jp				
年	月	日	学 歴 (高校卒業から記入)		
1993	3	10	△△高等学校普通科卒業		
1993	4	1	〇〇大学文学部史学科入学		
1997	3	23	〇〇大学文学部史学科卒業		
1997	4	1	〇〇大学大学院文学研究科史学専攻(修士課程)入学		
1999	3	25	〇〇大学大学院文学研究科史学専攻(修士課程)修了		
1999	4	1	〇〇大学大学院文学研究科考古学専攻(博士課程)入学		
2003	3	31	〇〇大学大学院文学研究科考古学専攻(博士課程)単位修得満期退学		
年	月	日	職 歴 (常勤・非常勤及び期間を明記)		
2003	4	1	〇〇大学大学院文学研究科研究生(2005年3月まで)		
2005	4	1	■■県立□□博物館嘱託研究員(現在に至る)		
年	月	日	海外研究歴(場所・期間・身分・研究テーマ)		

(記 入 例)

別紙様式 3

研 究 等 業 績 目 録

氏 名 佐 倉 太 郎

No. 1

著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
(著書) 1 ○○○○ } 5 □□□□ 6 △△△△	単著 単著 共著	2012 年 8 月 2008 年 12 月 2006 年 3 月	○○○出版 □□□社 △△△△	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ (B5 判、350 頁) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ (A5 判、300 頁) 第 2 章第 3 節「○○○○○○○○○○」 (pp175~195)を執筆 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ (A5 判、500 頁、編者△△△△、分 担執筆○○○○、□□□□、)
(学術論文) ① ○○○○ } ⑮ □□□□	共著 単著	2012 年 7 月 2007 年 3 月 博士 (史学) の 学位修得	『○○○○研究紀要』 第○巻、第○号、pp1~50 ○○大学 ○○大学大学院文学研 究科	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ (共著者△△△、××××、□□□) レフェリー付き ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ レフェリー付き
(学会発表) 1 ○○○○	単独	2006 年 9 月	○○学会第○○大会 (於 ; ○○大学)	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
(その他) 1				
プロジェクト名 又は研究題目	役割	従事した期間	参画した博物館・ 研究機関等の名称	概 要
(博物館・研究機関活動) 1 共同研究「◎◎◎」 2 企画展示「○○○」	共同研究代表者 展示プロジェクト 委員会代表者	2008 年 4 月 ~ 2010 年 3 月 2006 年 1 月 ~ 2007 年 6 月	△△△研究所 □□□博物館	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・

※共著の場合は分担内容を明記すること

2015 年 4 月 1 日

関係者各位殿

東北学院大学
教養学部長 佐久間 政広
(公印省略)

東北学院大学教養学部教員（言語文化学科）公募

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、この度、本学科では、下記の要領で専任教員を公募することになりました。つきましては、ご多忙のところ恐縮に存じますが、貴学（機関）関係方面への周知方お願い申し上げます。

なお、本学部は人間科学科、言語文化学科、情報科学科、地域構想学科の四つの学科からなる学際的な性格をもつ学部で、大学院として人間情報学研究科博士前期・後期課程が設置されています。

また、福音的信仰のキリスト者、もしくはキリスト教に基づく本学の建学の精神を理解される方を希望しております。

敬具

記

- ・ 公募人数 : 1 名 准教授ないしは講師
- ・ 所 属 : 教養学部言語文化学科
- ・ 公募分野 : イギリス文学・文化
- ・ 担当科目 : 英語Ⅰ・Ⅱ、英米文学史、英米文学、Advanced English Reading、言語文化基礎演習、言語文化学演習
- ・ 応募資格 : 以下の条件をすべて満たしていることが望ましい。
 - (1) 着任時に博士の学位を有していること。あるいはそれと同等と見なせる研究業績を有すること。
 - (2) 英語でも授業ができること。学内の諸業務を遂行できる十分な日本語運用力を持っていること。

- (3) 一般英語の教育を行うのに十分な経験と熱意を持っていること。
- (4) 心身ともに健康で学科の理念、教育目標に基づき、教育や研究、学内の諸業務を積極的に行えること。

・ 着任時期 :2016 年 4 月 1 日

・ 待 遇 :採用時における本学規定による。

・ 選考方法 :書類審査および面接（模擬授業を含む）による。
審査結果は 8 月下旬までに文書にて通知する。

・ 提出書類 :

- (1) 履歴書
 - (2) 研究業績一覧
 - (3) 教育研究歴（これまでの教育研究の概要がわかるもの）
 - (4) 学術著書、研究論文 3 篇（それぞれに A4 用紙 1 枚程度の要旨を付ける）
 - (5) 本学での教育の抱負を語る動画ファイル資料（5 分程度）
- （注）ご提出いただいた資料は一切お返しいたしませんのでご了承ください。

・ 書類提出期限 :2015 年 6 月 18 日（木）必着

・ 書類提出先 :〒981-3193

仙台市泉区天神沢 2 丁目 1-1
東北学院大学泉キャンパス庶務係気付
東北学院大学教養学部長 宛

（注）宛先欄に「教養学部教員（英語）応募書類在中」と朱書きのこと。郵送の場合は書留郵便で送付のこと。

・ 問い合わせ先 :東北学院大学教養学部言語文化学科新任教員選考委員会

T E L : 022-375-1166（言語文化学科事務室）

E-mail : gengo@mail.tohoku-gakuin.ac.jp

各関係大学長
各関係機関長
各団体長



沖縄県立芸術大学
学長 比嘉 康春
(公 印 省 略)

教員公募について（依頼）

拝啓、時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
さて、このたび、本学音楽学部では下記要領により、器楽専攻の教員公募を行うこととなりました。
つきましては、関係各位にご周知方よろしくお願い申し上げます。

記

- 1 職 名 教授、准教授又は講師
- 2 採用人員 1名
- 3 所 属 音楽学部音楽学科器楽専攻
- 4 専門分野 フルート又はクラリネット
- 5 担当授業科目
学部：管打楽実技、卒業演奏、オーケストラ、合奏、室内楽、吹奏楽演習、副科実技
大学院（修士課程）：管弦打楽研究、協奏曲研究、オーケストラ研究、室内楽実習
- 6 応募資格 次の各号を満たすもの
 - (1) 教授の場合は博士、准教授又は講師の場合は修士の学位を有する者、又はこれらと同等の教育研究上の能力を有すると認められる者
 - (2) 上記の科目を担当できる者
 - (3) 年齢は問わない。但し本学の定年は 65 歳である。
 - (4) 採用後は沖縄県内に居住できる者
- 7 採用予定日 平成 28 年 4 月 1 日
- 8 応募締切日 平成 27 年 6 月 26 日（金）必着
- 9 提出書類
 - (1) 履歴書（本学所定の様式）
 - (2) 研究芸術活動業績書（本学所定の様式）
 - (3) 教育公務活動業績書（本学所定の様式）
 - (4) 社会活動業績書（本学所定の様式）
 - (5) 自薦書（採用後の本学における教育・研究活動について）（本学所定の様式）
 - (6) 主要な研究業績 5 件以内についての添付書類 ※3年以内の独奏による録音または録画を含むこと。一般の機器で再生できる CD か DVD に限ること。
（CD、DVD、演奏会プログラム、批評、著書等）上記様式については、本学ホームページからダウンロードして使用のこと。
（沖縄県立芸術大学ホームページ <http://www.okigei.ac.jp/employment/index.html> 『教員用』）
- 10 選考方法 第一次審査（書類選考）で選考された候補者には、第二次審査（面接及び演奏）を実施する。
（旅費等の経費は応募者の負担とする。）
- 11 選考結果 採否は平成 27 年 10 月末日を目処に本人宛に通知する。
- 12 応募書類の返還 資料等は選考終了後に返送する。
- 13 応募書類の提出先 〒903-8602 沖縄県那覇市首里当蔵町 1 丁目 4 番地
沖縄県立芸術大学 教務学生課宛て 電話：098-882-5080
／（郵便書留とし、封筒に「器楽専攻教員応募書類在中」と朱書きのこと）
- 14 問い合わせ先 沖縄県立芸術大学 器楽専攻学科室 電話：098-882-5089（FAX 兼）
E-mail：kigaku2@okigei.ac.jp
- 15 備 考
 - (1) 大学院後期博士課程を担当することがある。
 - (2) オーケストラの経験を有する者が望ましい。
 - (3) 学部・専攻の運営に積極的に関われる人材であること。
 - (4) 本学では公募の場合、割愛採用の取り扱いを行わない。